

G3 のツイッター その 28

烈剛河内 竹井 保満

選挙が目白押しですが、経済にリーマンショックの様に打撃を与えたのは、英国のEU離脱の投票でした。離脱に投票した人も事の重大な成行きに反省しているとか、民主主義とは言いますが、愚衆の集まりも困ったものです。昔の事です、大阪府知事に横山ノックが当選し3期目の選挙運動のとき、選挙カーの中で女性に淫らな行為をして失脚しました。漫才師の内輪では、エロ坊主・エロだこ、と呼ばれていたそうです。

さて、地に落ちた元東京都知事だった舩添さん、十数年も以前の事です、テレビ番組でアジア諸国の人々集め、日本をどう見るかの、お笑いの討論会を見ました。その席上で舩添さんは答弁できなくなると、大声で怒鳴り出しました。司会の機転でその場は収まりましたが、是非の分からない人だと痛感しました。腹立ちまぎれに、漢和辞典を紐解きましたら、舩添えの舩の字の意味は、そむく・たがう・まちがう・誤る、などあります。なるほど・・・

6月7日から三日間、認知症の老妻を宥め賺してショートステイ・サービスに預けて、北海道士別市で行われた全日本マスターズウェイトリフティング競技選手権大会に参加しました。慌ただしい旅程でエコノミックス症候群と疲れ、練習の成果が出せずメダルは頂きましたが不本意な成績に終わりました。今年も東京・メキシコと金メダルに輝いた三宅義信さんが参加されました。三宅さんも今年76歳になられます。型にはまった素晴らしいフォームでしたが、成績は三位でした。先日ハンマー投げの室伏選手が全盛期の記録から飛距離が20メートル程手前に落ちたのを見ました。室伏さんは引退を表明されましたが、あと、40年も経てばフォームは美しいが記録は、私が82~3歳の時の記録に近づくのかなーと寂しく思いました。

上記のオリンピックで気を吐いた方は燃え尽きても燦然と輝く記録がありますが、私は、産業戦士として日本を世界に押し上げた自負が有ります。士別市のウェイトリフティング大会に会長の小池百合子もと防衛大臣の臨席をいただきました。市長さんも市議員さんも市を挙げて大歓迎でした。

丁度良いチャンスなので、小池百合子会長さんに少し話をしました。17歳の最年少でシベリヤに抑留され死線をさまよった話、ソ連帰りは赤の烙印を押され、就職が6年も遅れたが何とか取り戻した事、山登りのインストラクターとして60kgを背負い登り降りして、体を鍛えて今日が有ることなどを話しました。更にこれからの希望は、孫の結婚式の招待でもなく、ひ孫の顔を見るのでもなく、大きく転換しつつあるバイオやDNAやIT、変貌する国々の5年10年後の世界が見てみたいとお話しました。

そして、その舵取りや責任は、先生の本業である政治ですと結びました。

小池百合子会長からもツーショットの写真と「艱難汝を玉にす」の言葉をいただきました。

玉もラムネの玉ぐらいですが・・・